

(様式第4号)

## 協働推進モデル事業計画書（本提案用）

(記載が複数ページにわたっても良いので、できるだけわかりやすく具体的に記載してください。ただし、この企画書はA4サイズ4ページ以内で作成してください。)

提案団体	団体名	NPO法人だっぴ (担当者 柏原 拓史)			
	合同提案団体	(協力団体として) NPO 法人カタリバ・・・プログラムの協力、助言 NPO 法人チャリティーサンタ岡山支部・・・大学生の募集、サポート			
協働する岡山市の 担当課等と担当者.	課名	教育委員会事務局指導課	電話	086-803-1592	
	担当者 2名	職名	室長	職名	指導副主査
		氏名	服部道明	氏名	永井正博
	課名	教育委員会生涯学習課	電話	086-803-1606	
	職名	課長補佐			
	氏名	安東信哉			
提案事業の名称	中学生が地域の大学生、保護者と交流するキャリア教育授業のモデル化				
提案事業の目的	中学生が、地域の大人（保護者）や大学生と交流することで、自身の自己効力感を高めるようなキャリア教育プログラムのモデル化を行い、学校や地域社会に展開させていくこと				
解決をはかりたい課題の 緊急性・重要性等（市民ニーズ含む）  ※ニーズ把握等を行った調査資料等がある場合は添付してください。	<p>1. 解決をはかりたい課題と現状</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・中学生の他者とのつながりや関わり不足</li><li>・中学生の不登校率の改善または予防</li><li>・中学生の非行率の改善または予防</li><li>・子どもたちの体験的な活動の不足</li></ul> <p>2. 市民ニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・子どもたちの不登校率の改善や非行率の改善による安心安全な地域社会の形成</li><li>・若者の社会参画</li><li>・若者の地元への定着、愛着の増加</li></ul> <p>3. 課題解決の方策 (前提として)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・子どもは、誰の背中を見て育つかによってその子自身の人格や夢、将来への希望に大きな影響を及ぼす。多くの子どもが、身近な大人として親や学校の先生を意識している中、接する大人の範囲や質、量によって子ども自身の選択の幅が狭められていたり、機会に恵まれない状況なども生まれている。逆に言えば、どのような大人と接することが出来るかで子どもの未来に少なからず影響があり、その差が将来の格差や地域の持続的な発展を妨げる恐れがある。</li></ul> <p>(方策として)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・そこで、私たちは、若者が魅力的な大人の背中を見る機会を地域の文化として形成していくことに取り組む。とりわけ、本事業では、上記1に記載したような中学生の課題と現状に対し、当事者である中学生が、自分の親や先生以外の地域の魅力的な大人と出会い、交流する場を設けることに取り組む。</li><li>・その取り組み方として、地域の大学生が斜めの関係として関わり、サポートすることで、中学生に身近な自身の将来の姿を意識してもらおうと共に、メンター的に大学生が関わることで大学生自身の地域貢献意識を高めるなど、双方の自己肯定感を高めるようにもする</li><li>・上記のような地域の“人”が関わるキャリア教育をモデル化し、社会教育として学校現場に示すことで恒久的な課題解決の方策を探る</li></ul>				

<p style="text-align: center;">協働の必要性 及び効果と目標</p> <p>(協働の役割分担を 含む)</p>	<p>1. 協働の必要性と相乗効果</p> <p>今後、地域課題は益々複雑化し、解決が難しくなっていくと言われていいます。そのような時代において、課題を解決し地域を創っていける人材を育てるためには、社会教育の機会において、質としての子どもから大人に至るまでの一貫性と、量としての広範囲な機会の均一性が必要と言えます</p> <p>当法人は、若者が困難に際したとき、諦めるのではなく自ら選択し、チャレンジしていけるよう支援を行っていますが、当法人だけでは、この成長に応じた一貫性と量としての広がりをもどうしてもすぐには担保できない現状があります(時間的にも組織力的にも)。</p> <p>一方で、質と量の確保を担う行政においては、様々な事業を限られた人員で行う中、変化し複雑化していく課題に柔軟かつスピーディに対応した施策の展開が十分に行えない面があるようにも感じます。</p> <p>そこで、当法人の持つ専門的な知見と実績と行政の社会教育上の施策とが合わさることで、これまでにない取組の幅と展開を生むことができると考えています。</p> <p>(以上を整理した協働の必要性と相乗効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会教育として必要性が認識されているキャリア教育について、NPO による活動だけではその波及に多くの時間がかかる</li> <li>・ 一方で、行政施策としてのキャリア教育施策は早急な施策充実と展開が求められているが、新しい知見が行政単独では不足しがちな面がある</li> <li>・ NPO 法人には、県内外で展開してきた知見が備わっている</li> <li>・ 上記の双方の強みを合わせ、協働することで、それぞれが個別に取り組むよりも早期に施策の充実が図られる可能性が高まると思われる</li> </ul> <p>2. 提案団体が果たす役割</p> <p>事業全体の企画とコーディネート、参加者の学びと気づき、繋がりが深まるようなプログラム作成と当日までの準備および当日を含めた運営を担う</p> <p>3. 岡山市の担当課等が果たす役割</p> <p>中学校への協力依頼、チラシ配布、PTA への説明と協力依頼 募集告知、活動結果の市民広報、教育プログラムの協働作成</p> <p>4. 期待する事業成果・目標値等</p> <p>(教育現場で展開できるキャリア教育モデルを提示する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域のPTA(保護者)と大学生が連携した形での中学生へのキャリア授業のモデルを示し、今後、教育現場で展開されていくことを目標とする</li> <li>・ また、今回、PTAと中学生、大学生の交流モデルと言うだけでなく、全国的に評価の高いNPO法人カタリバの授業プログラムを岡山中で初めて導入することから、岡山の教育現場への知見の導入のキッカケとなることも成果として期待する</li> </ul> <p>(中学生の意識の変化をアンケートにより把握する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加中学生には、参加前と参加後で岡山市教育振興基本計画の第3章に掲げられている「市民協働による自立する子どもの育成」に必要な3要素「豊かな人間性」「自分を高める」「共に生きる」についての変化を把握するためのアンケートを実施してその効果を定量的に把握する。その上で、プログラムの内容と効果を評価して今後の教育現場への展開に適した内容に修正していく。</li> </ul> <p>(大学生に対し)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の役に立ちたい、人の役に立ちたいという大学生は多いが、地域の中でのその存在感を示す機会は少なく、今回の事業で中学生のメンターとしての役割を果たすことで地域社会へ参画していく経験を積んでもらい、地域の人的資源の向上につなげる(生涯学習効果)</li> </ul> <p>5. 今後の展開目標について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今期は、中学校の教育現場が取り組むことができるキャリア授業モデルを教育委員会と協働してつくることを目標とし、来期以降はそのモデルの現場展開を図っていくことを目標とする。市が掲げる教育振興基本計画の展開施策として活用されること、中学生の意識変化に効果があり、市内中学校で展開されていくことを最終目標として取り組む</li> </ul>
--	---

<p>事業の内容</p>	<p>中学生と地域の大人や大学生が生き方や仕事、勉強の意味などについて本気で語り合う交流会を以下の要領で開催すると共に、実施結果を教育関係者に広く啓発する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大人としての保護者（PTA）との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記交流会の大人として、中学生の親である保護者を中心に呼びかけ参加してもらう</li> <li>・呼びかけに際しては、教育委員会から PTA などに趣旨と目的を丁寧に説明し、協力を依頼する（理解してもらった上で参加、協力してもらうことを重視する）</li> </ul> </li> <li>2. 大学生との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の大学生に呼びかけ、中学生のメンター的な役割で参加してもらう。</li> <li>・大学生には、中学生に学びと気づきが起きるよう、全国で同様の事業を展開する NPO 法人カタリバのプログラム講習を受講してもらう</li> </ul> </li> <li>3. 広報 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施について、教育委員会と協力してモデル実施校の募集と決定を行う。</li> <li>・上記と連携し、大学生が中学校に行って事業の PR や参加の呼びかけなどを行う機会を設ける</li> <li>・事業の実施結果は、報告書として整理し HP 等で公開する</li> </ul> </li> <li>4. 当日のプログラム <ul style="list-style-type: none"> <li>【開催時期】 平成 27 年 11 月（土曜授業などとの連携を検討する）</li> <li>【時間】：1 時間半～2 時間</li> <li>【場所】：モデル校</li> <li>【プログラム（案）】 中学生と保護者、大学生が働き方をテーマにした交流プログラムとし、詳細は、学校へのニーズ調査などを踏まえて教育委員会と協議しながら作成する</li> <li>【対象例】 1 クラス 30 人の場合 （1 グループ：中学生 5 人、保護者 2 人、大学生 2 人）×6 グループ クラスごとに、保護者 12 名、大学生 12 名の協力が必要となり、3 クラスでは、保護者 36 名、大学生 36 名の協力が必要となる。</li> </ul> </li> <li>5. 取組内容の普及活動 事業の取組内容を県内に広く PR し、キャリア教育に取り組む教育現場に参考としてもらうために、活動内容のパンフレットを作成し、教育委員会と協力して必要とする学校等に配布する。</li> </ol>
<p>事業の実施体制</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 総括責任者 柏原 拓史（代表理事）</li> <li>2. 個別事業責任者 河原 彩花（事務局スタッフ）</li> <li>3. 事業実施にあたっての専門性やノウハウ NPO 法人だっぴ <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生、高校生と社会人との交流事業の実施（約 5 年）</li> <li>・自己肯定感が向上するような交流プログラム</li> </ul> NPO 法人カタリバ <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生と大学生との交流事業の実施（約 10 年）</li> <li>・自己肯定感が向上するような交流プログラム</li> </ul> </li> </ol>

事業スケジュール	月	実施事業内容
	2015年4月	・中学校職場体験説明会での紹介・企画プログラムの詳細協議
	2015年5月	・企画プログラムの詳細について協議（日程、会場、時間など） ・会場の確保
	6月～7月	・大学生キャストの募集 ・NPO 法人カタリバの授業視察
	8月～9月	・PTA および学校への協力依頼 ・参加者募集チラシ、ポスターの作成 ・広報開始（参加者募集） ・大学生キャストの講習
	10月	・参加者の募集 ・PTA 参加者への事前説明 ・教育関係者等へのPR ・市広報誌や地元広報誌等へのPR
	11月	・交流事業の開催
	12月	・事業の振り返り ・報告書の作成と公開 ・啓発パンフレットの作成
実施する上で連携が必要と思われる団体と期待される役割	名称	期待される役割
	NPO 法人カタリバ	プログラム作成の協力と助言
	NPO 法人チャリティーサンタ岡山支部	大学生キャストの募集
	岡山市PTA協議会・単位PTA	参加する保護者枠の募集、呼びかけ
	岡山県教育委員会	事業の後援など
事業の展望及び今後の活動展開	<input type="checkbox"/> NPOがネットワークを構築し、他団体と連携し実施することを目指す。 <input type="checkbox"/> 岡山市の一般施策としていくことを期待する。 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以後も協働での実施を希望。 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
	具体的な目標（計画）があれば記載してください。 (2015年度) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今期は、中学校の教育現場が取り組むことができるキャリア授業モデルを市教育委員会と協働してつくることを目標とする。</li> <li>・ そのために、全国で地域と連携したキャリア教育事業を展開する NPO 団体の知見も参考にしながらプログラムの作成を行うと共に、取り組み結果の分析とその発信を行う</li> </ul> (2016年度) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケートにより把握した教育効果等からプログラム自身のブラッシュアップを行いつつ、教育現場での展開方法を教育委員会と一緒に検討する</li> <li>・ 実際に市内の中学校でモデル的に実施する学校を募集し、教育委員会と NPO の協働事業として実施する</li> <li>・ 実施結果についてふり返りと改善を行い、より教育現場が取り組みやすく、効果が期待出来るプログラムへの修正等を行う</li> <li>・ 実施展開にあたって、教育振興計画を考慮したものとする</li> </ul> (2017年度) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校現場での展開を引き続き検討して実施する</li> <li>・ 実施結果については、分析の上、積極的な発信も行う</li> </ul> (2018年度以降) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が掲げる教育振興基本計画の展開施策として活用されるプログラムが完成されており、市内中学校への発信が行われている状況を目指す</li> </ul>	

(様式第5号)

## 協働事業収支予算書

提案事業名	中学生が地域の大学生、保護者と交流するキャリア教育授業のモデル化
-------	----------------------------------

### <収入>

費目		金額	内訳
自己資金等	申請団体 自己資金	180,000	
	合同提案団 体負担金等		
自己資金等合計(a)		180,000	
事業 収入 見込			
事業収入見込合計(b)			
岡山市補助金申請額(c)		720,000	
収入合計(c) = (a) + (b) + (c)		900,000	

### <支出>

費目		金額	内訳
事業 実施 経費	会場費	0	
	広報費(チラシ、ポスター作成)	50,000	キャスト募集チラシ、ポスター印刷
	視察費(カタリバプログラム)	120,000	東京往復交通宿泊費 40,000円×3人
	啓発パンフレット作成費	250,000	
	委託費(講習会および助言) 謝金	150,000 50,000	カタリバ委託費および講師旅費 学生リーダー謝金 5,000×6回、 記録カメラマン 20,000円
事業実施経費合計(d)		620,000	
管理 運営 経費	人件費	240,000	1,000円×8h/日、30人日、
	消耗品費	40,000	スケッチブック 200円×200個
管理運営費合計(e)		280,000	
総事業費(f) = (d) + (e)		900,000	※収入合計(c)と同額

- (添付書類等) 1. 人件費等については、積算の根拠(これまでの実績や独自の単価表)を添付すること  
2. 参加料などの事業収入を見込む場合は「収入見込み」欄に計上すること